

## 「議論の振り返り（仮称）」の作成について（提案）

継続的な安全性向上に関する検討チーム 事務局

### 1. ねらい

- ・ 本検討チームにおいては、多様な観点からの示唆に富むインプットをいただき、規制機関として、多くの学びがあったものと認識。
- ・ これまでの議論、主な内容を、ひとまとまりの文書として残し、今後に活かしたい。

### 2. 作成方針

- ・ 意見の「整理」や「とりまとめ」ではなく、議論の流れや見解の広がりや、後々、追体験できるようにするための「記録」にとどめる。いわば「議論の振り返り」というべきものであり、そのように仮称してみた。
- ・ 他方、単なる議事録や議事概要ではなく、議論の追体験のよすがとしたい。そこで、問題意識や論点、思考過程が分かるような構成及び記述とする。
- ・ あわせて、議論の背景にある経済社会構造などに対する理解や捉え方なども合わせて資料化することが、内容を理解しやすいものとするため、有益ではないか。

### 3. 形式等

- ・ 「継続的な安全性向上に関する検討チーム」のクレジットで作成する。
- ・ 議論の過程で題材となった今後の検討課題や政策的取組のアイデアなどは、今後に向けた検討素材として、適宜補正の上、添付する。

## 4. 構成

次のようにしてはどうか。

### I はじめに

- (1) 検討の背景と目的
- (2) 検討チームメンバーの問題意識
- (3) 検討チームにおける議論の経緯
- (4) 「振り返り（仮称）」の構成と記述スタイル
- (5) 添付の資料について

### II 議論を振り返る

- (1) 原子力規制の在り方と継続的な安全性向上  
検討の総論、二つの倫理にまたがる論点を記載
- (2) 欠けの発見について（市場の倫理）
- (3) 発見した欠けへの対処について（統治の倫理）
- (4) ……………（今後の議論に応じて項目を追加）

### III 今後に向けて

- (1) 実行に移していく課題
- (2) さらに議論が必要と思われる課題

## 5. 進め方

- ・ まずは、1～4についてご議論いただきたい。
- ・ その際、4の構成案によった場合の記述例（あくまで職員個人の私案）を資料2として添付したので、参照いただきたい。